

# 慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

2023  vol.43

## 志木高の未来を語ろう! 第8回志木会大会開催決定 (11/18(土)・恵比寿ザ・ガーデンホール)



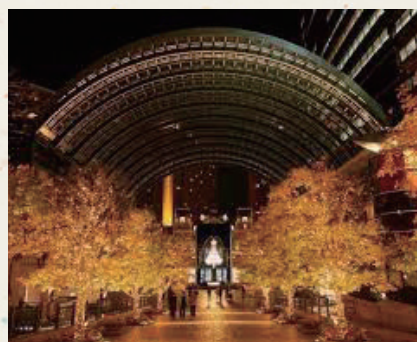
校舎(ドローン撮影)



多目的棟建設現場



ザ・ガーデンホール



恵比寿ガーデンプレイス

### 目次

志木高の未来を語ろう!

#### 第8回志木会大会 開催概要

(11/18(土)・恵比寿ザ・ガーデンホール)

#### 開設75年事業

多目的棟建設進捗と寄付方法のご案内

#### イベント参加募集&実施報告寄稿

- ・ 枇杷の会よりお知らせ
- ・ 同期会&OB会だより
- ・ ホームカミングデー
- ・ 75周年記念グッズ紹介 ほか

#### 母校の「今」がわかります

- ・ 体育部会、文化部会 NOW/クラブ戦績
- ・ 志木高・志木会行事日程 ほか

収支報告、役員・幹事・クラブ幹事一覧

志木高 OB 注目！恵比寿で志木高の未来を語ろう  
**第8回志木会大会 開催決定**

志木会大会は志木会創立昭和 63 年（1988 年）から 5 年に 1 度、合計 7 回を開催いたしました。その間、ホテル、イベント会場、また志木高にて開催し、直近の第 7 回は OB バンドの演奏を目玉に現代版の OB 収穫祭をイメージし盛況な会となりました。

今回は、卒業期毎の親睦が主体となっている現状を踏まえ、終了後の期毎の親睦に重点を置ける様な開催としての要領・方針としました。

更に、大会目的として母校の現状認識と将来への発展の構図を考える時間の共有をメインとしてシンポジウムを中心とした会として舵を切りました。

結果、収益面での改善も図られ、OB 会として、もう一つの本来の目的である、母校への経済的支援、貢献がよりなされるような企画といたしました。

映像収録を行い後日アーカイブ配信も検討中です。

OB の皆様におかれましては、新たな大会の形としてご理解いただき、是非とも仲間に声をかけご参加いただければと存じます。

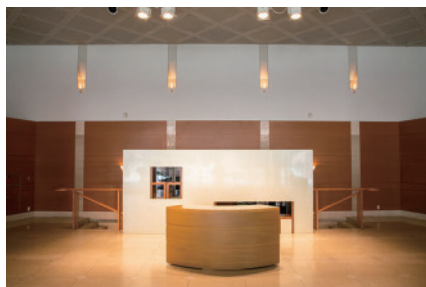
同期の仲間、クラブの仲間など愉快で DEEP な懇親の場は 2 次会で楽しんでいただけるよう開催時間も考慮しております。



ザ・ガーデンホール



3F 開催会場



1F 受付



3F 懇親用ホワイエ

## 開催概要

- ・テーマ：100周年に向けて 未来の志木高を語ろう
  - ・日時：2023年11月18日（土）  
受付開始14:00 開会15:00 閉会（退出）17:00（予定）
  - ・会場：恵比寿ガーデンプレイス内 「ザ・ガーデンホール」  
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-2  
恵比寿ガーデンプレイス内
  - ・アクセス：JR「恵比寿」駅 東口・徒歩：（恵比寿スカイウォーク利用）徒歩約5分  
東京メトロ「恵比寿」駅 一番出口・徒歩：（恵比寿スカイウォーク利用）  
徒歩約7分
  - ・会費：¥3,000- ※当日支払いのみ  
アルコール3ドリンク・ソフトドリンクフリー・  
おつまみ含む
  - ・その他各コーナーのご案内
    - ①記念撮影コーナー 仲間で記念撮影できるバックパネルを用意いたします
    - ②75周年記念グッズ販売コーナー
    - ③75周年寄付受付コーナー
- ※2次会の場所探しに関するご相談は、事務局企画担当・永井まで yoshiki0131triton@gmail.com



## 2023志木マスタースゴルフ第10回記念大会 参加募集



### 開催概要

- 開催日時：2023年9月14日（木）  
TEE UP アウト&イン 8:30～（アウト10組・イン10組 計20組80名）
- 開催場所：太平洋クラブ 成田コース  
<https://www.taiheiyoclub.co.jp/course/narita/index.html>  
〒286-0125 千葉県成田市川栗240  
TEL0476-35-8820 narita-c@taiheiyoclub.co.jp
- 参加会費：¥18,000（概算）キャディ付、昼食付
- 参加申込/問合せ：天野徳雄 riripapa16@gmail.com

## 会長ご挨拶



慶應志木会会長

坂上 隆彦

謹啓

慶應志木会会員の皆様、3年間、待ちに待ったコロナ解禁の第1段、5類への移行が5月8日付けにてやっと思われしました。未だ完璧にコロナが無くなった訳ではありませんが、少しずつ、再びご家族、ご友人達との楽しい日々をお過ごしになられている事と存じます。

さて、その様な中、慶應志木会活動も昨年来徐々に復活しており今年からはより一層フルサイズでの活動に邁進して参ります。学校行事の方では去る3月24日に卒業式を行い、新たに237名の諸君が卒業、同時に慶應志木会の新メンバーとして入会して頂きました。当日には恒例の卒業40周年として30/31期の会員各位の臨席が再開された次第です。更に、4月6日には伊藤塾長に御来校頂き246名の新入生を迎え入学式が晴れやかに行われております。当日臨席されたお喜びのご父兄は500名に及ぶ大人数と伺い慶應志木高の人気たるや益々上昇しているようであり喜ばしい限りです。

志木会活動では、去る6月6日に三田キャンパス生協食堂にて幹事総会を開催いたしました。こちら総会終了後、ビュッフェスタイルでの懇親会を開催し先輩/後輩の懇談を行えたこと何よりかと思えます。幹事総会での議題は多岐にわたりますが昭和63年創設の「慶應志木会」も35周年を迎えました。ここで将来の発展に向けた若返りも視野に入れた活動に入りたいとも思っています。その事例として来る11月18日土曜日、「恵比寿ガーデンプレイス」にて予定しております「志木会大会」では従来の大規模親睦会形式より、実質的な卒業期毎の親睦に重点を置いた、志木高の事を思える、考えられるようなイベントに変更して参ります。

大会目的としては、「我が母校、慶應志木高の現状認識と将来への発展の構図を考えられる時間の共有」を趣旨として、現役の教員各位や志木高関係者でのパネルディスカッションを行い、75周年から次の100周年に向けた討論の場を設定致します。芸術的側面をあえて設定致さない事ご容赦ください。又、副次的効果として母校への経済的支援もより図れるようにしたいとも思っております。更に新体制としての役員陣の若返りもご紹介させて頂く予定であります。

その他の活動についても全てフルスケールにて再開いたします。

- 1：志木マスターズゴルフコンペ、9月14日(木)、太平洋クラブ成田コースにて開催予定であります。
- 2：連合三田会での「慶應志木会」テント開設、10月15日(日)、日吉キャンパスにおいて下さい。
- 3：志木収穫祭、ホームカミングデー、10月28/29日(土/日)、の予定で22/47期、23/48期ご招待、その他の期のメンバーの方も個別登録での来場可能です。  
→そして、11月18日(土)の志木会大会となります。

志木高開設75年事業募金活動の方は目標額2億9千万円に対し、2億円レベル(約70%)の集金額の目安はついてきましたが、あと数千万円が未達です。こちらの方は募金委員会からの案内をご参照頂きどうぞ奮ってご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

では、どこかのイベントでお目にかかる日楽しみに、会員各位のご健勝ご活躍を祈念し、慶應志木会への更なるご支援をお願いしご挨拶とさせていただきます。

謹白

## 名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長  
慶應志木会名誉会長

### 高橋 美樹

志木会の皆様には、従前より、奨学金、国際交流、志木会賞、さらには「慶應義塾志木高等学校 開設75年事業」へのご協力等、様々な形で多大なご支援をいただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、こころより御礼申し上げます。

本年3月24日(金)、山内慶太・常任理事ご臨席のもと行われた第73回卒業式では、坂上隆彦会長(23期)に加え、久しぶりに卒業後40年(30期と31期)の皆さまをお迎えして、生徒237名の卒業を祝うことができました。慶應志木会賞については、5団体・4名の生徒を表彰していただきました。また、4月6日(木)には、伊藤公平・塾長ご臨席のもと、生徒と保護者2名まで出席できる形で入学式が行われ、246名の新入生(76期生)を迎えました。未来の志木会会員の成長を暖かく見守っていただければ幸いです。

この間、3月27日(月)には、伊藤公平塾長、岡田英史常任理事(施設・管理担当、志木高OB)、駒形哲哉経済学部長(志木高OB)をはじめとする慶應義塾関係者、および福富正人代表取締役社長をはじめとする株式会社安藤・関係者を参列者として地鎮祭が執り行われ、本格的に、開設75年事業の大きな柱である「志木高等学校 多目的棟(仮称)」の工事も始まりました。開設75年事業について、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」という指針を定めたのが、2018年10月でしたので、新型コロナ禍を挟んで、足かけ5年になります。

《慶應志木会メール マガジン 第228号》(2023年4月21日付)で、森岡主事から「コロナ下での志木高校」について寄稿がありましたが、その後、5月8日付の感染症法上の分類変更(新型コロナウイルス感染症は2類相当からインフルエンザと同じ5類相当へ)を経て、マスク着用の任意化、濃厚接触者対応の終了等、志木高での学校生活は、ほぼ、新型コロナ禍前の日常に戻りました。実は、先の卒業式や入学式でも久しぶりに声を出して塾歌を歌うことができ、ワグネル男声合唱団や器楽部の応援を得ることもできました。森岡主事の報告にもあるとおり、常日頃から、真面目に誠実に、地道に感染予防・対策を積み重ねてきた、教職員や生徒・ご家庭の協力あってのことです。新型コロナの感染を極めて低いレベルに抑えられたことは、志木高らしいと思いますし、校長として誇りにも思います。

2023年、新型コロナ禍を経て志木高での学校生活が(ほぼ)正常化する時期と、多目的棟(仮称)が完成する時期が重なりました。開設75年を機に、国際交流、「少人数・適正規模教育」など、志木高にふさわしい教育プログラムの開発・実践に取り組む、慶應義塾志木高等学校の新たなスタートを暗示しているようでもあります。年2回の「志木演説会」でも、本校OBで、それぞれの活躍の場で新風を吹き込んでいる、ベンチャーキャピタリスト・佐俣アンリ氏(53期)と、現代美術家・大山エンリコイサム氏(53期)をお招きすることが決まりました。慶應義塾志木高等学校は、これからも着実に歩みを進めて参ります。

今年は、また、5年に一度の志木会大会の年でもあり、開設75年事業を踏まえて、今までとは違う形での開催を企図されていると聞きます。多くの皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

# 開設75年事業

2021年5月から始めました開設75年事業募金について、経過報告と共に改めてご案内します。  
下記ご一読の上、何卒ご協力賜ります様、お願い申し上げます。

2023年7月吉日  
開設75年事業 募金委員会

## 多目的棟の概要

開設75年事業の中核となる多目的棟の概要・イメージが具体化してきました。まだ決定ではありませんが、第一候補案のパス・配置図をお知らせします。当初の教室構成や多目的ホールを確保しつつ、2階建てに変更され、工期とコストを抑えるようなプランになっています。2022年12月着工、2023年12月完工が可能とされています。



外廊下・広場イメージ



エントランスホールイメージ



多目的ホールイメージ



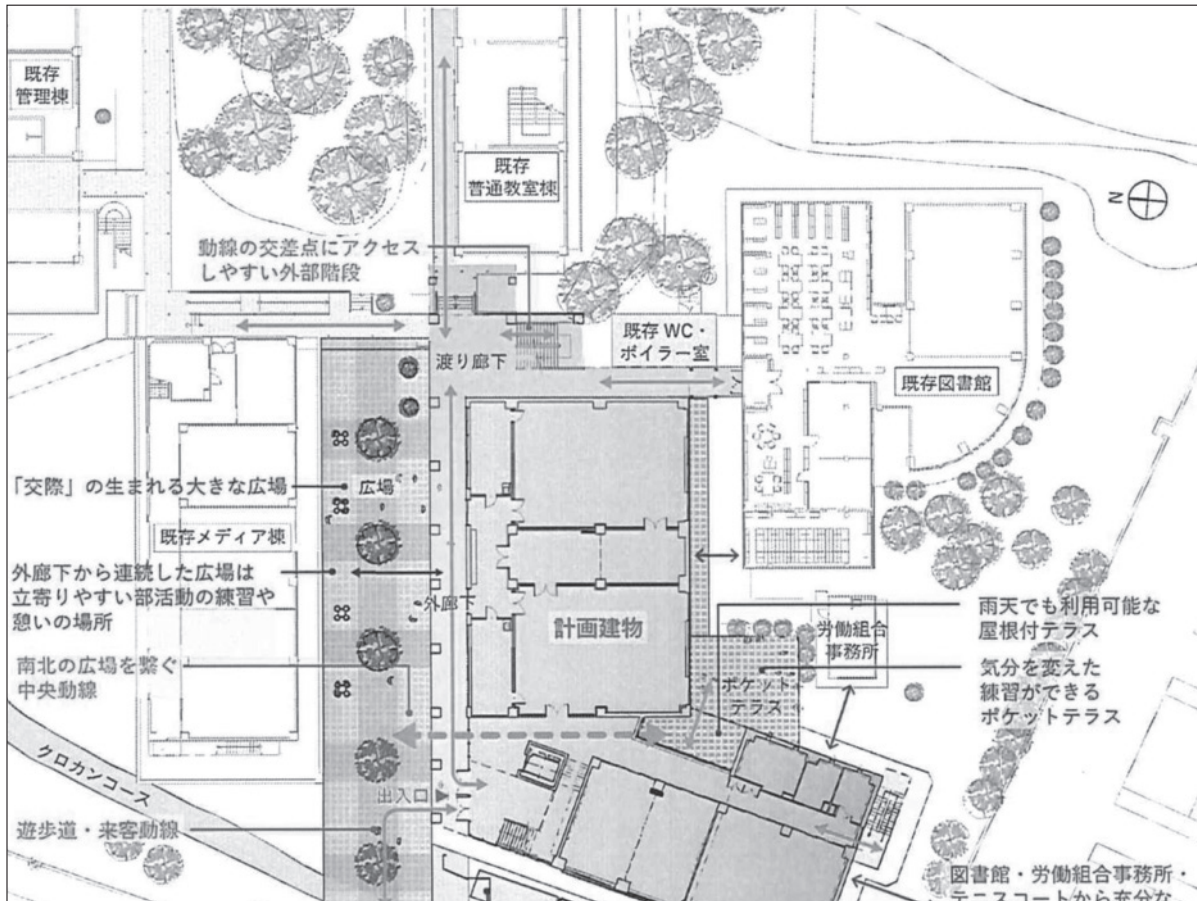
外部階段・渡り廊下イメージ



ホワイエ兼 展示ホールイメージ

# 募金のお願い

配置図 既存屋外動線とのネットワーク



地鎮祭 (2023年3月27日撮影)



基礎工事 (2023年5月7日撮影)

# 開設75年事業

## 募金実績報告

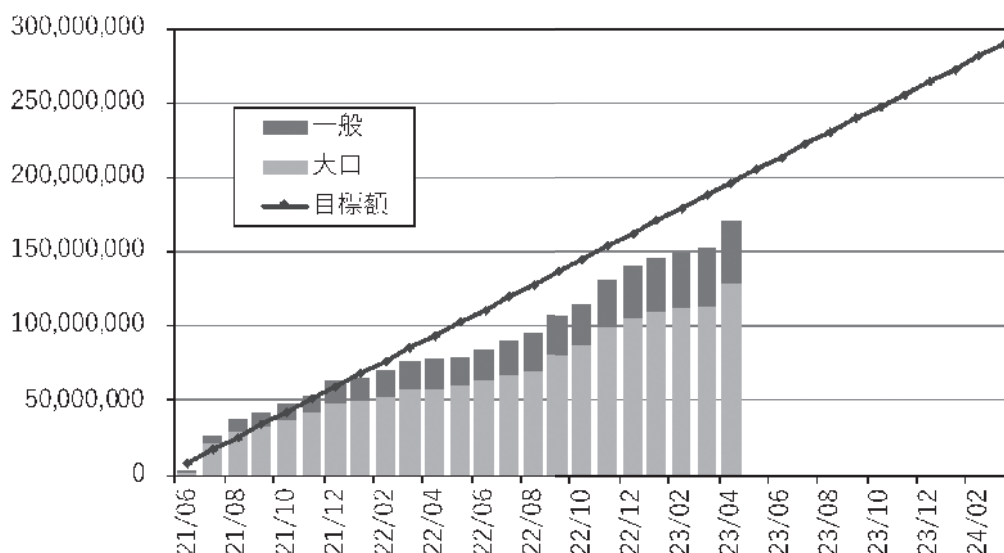
2023年4月までの募金実績と今後の対応を報告します。

2024年3月までの募金目標額2億9千万円を均等配分した目標ラインを表現したグラフで見てくださいと、会報送付後の7～9月、募金依頼DM送付後の11～1月は募金額が増加しています。

また23年3月末には、約200名の方に大口募金依頼をお送りしました。その結果、4月に大口寄付を頂きました。

23年4月現在、1,492名から17,072万円の寄付を頂きました。募金委員会一同、深謝申し上げます。

寄付額推移



①志木会員16,000名から寄付者3,000名を目指していますが、まだ半分程度です。お一人お一人の寄付の積み重ねが必要です。後述の様に募金サイトからクレジットカードで寄付が出来ますので、何卒よろしくお願い致します。

学年幹事の皆様からのお声掛けもよろしくお願い申し上げます。特に学年単位の団体募金を30万円以上行って、多目的棟の銘板に名を刻もうという事をお願いしております。23年4月現在、11期・20期・21期・23期・28期・35期・36期・37期の8学年から寄付を頂きました。現在74期までありますが、より多くの学年の銘板が並びますようご協力ください。

②各クラブにも団体での30万円以上の寄付をお願いしております。23年4月現在マンドリンクラブだけですが、クラブ顧問の先生からもプッシュいただき、複数クラブで募金が始まっております。団体寄付については、通常手続きと異なりますので、まずは志木高事務局までご連絡ください。

上の学年と下の学年の世話役を繋ぐことも募金委員会としてできる限り行います。基金室所定のリストを提出すれば寄付金控除を個別に受けることも可能です。個人で複数回、学年団体で、クラブ団体でと重ねていただくとありがたいです。

③大口寄付については募金委員会が個別に勧誘していきます。3月末に依頼した約200名の個人・法人に寄付をお願いし、4月に続き5月6月にも大口寄付を頂きたいと思っております。2億9千万円達成には、大口寄付が欠かせませんので、尽力していきます。



# 募金のお願い

## ■ 2023.4.30 時点 期別募金実績一覧

寄付人数合計 1,492 名 募金金額合計 ¥170,721,100 進捗率 58.9%

(内大口寄付者 196 名 / ¥133,860,000 / 構成比 78.4%)

期	累計		(内 大口寄付者)	
	人数	寄付金額	人数	寄付金額
1期	4	1,130,000	1	1,000,000
2期	3	1,010,000	2	1,000,000
3期	1	100,000	0	0
4期	13	400,000	0	0
5期	5	150,000	0	0
6期	3	135,000	0	0
7期	6	470,000	1	300,000
8期	9	580,000	1	300,000
9期	7	1,410,000	2	1,300,000
10期	17	11,040,000	4	10,800,000
11期	63	2,850,000	3	1,100,000
12期	33	1,730,000	3	900,000
13期	33	3,332,000	5	2,500,000
14期	15	2,630,000	3	2,280,000
15期	48	15,170,000	11	13,930,000
16期	26	3,680,000	5	3,100,000
17期	38	4,233,000	7	3,400,000
18期	25	1,990,000	4	1,400,000
19期	27	2,260,000	5	1,600,000
20期	54	7,575,000	10	6,400,000
21期	88	2,553,000	1	300,000
22期	20	11,460,000	3	10,650,000
23期	119	20,670,000	21	18,300,000
24期	34	4,595,000	11	4,000,000
25期	32	2,795,000	7	2,100,000
26期	29	1,200,000	1	300,000
27期	16	2,070,000	4	1,600,000
28期	55	2,435,000	3	900,000
29期	32	3,585,000	6	2,500,000
30期	44	3,001,100	5	1,900,000
31期	15	2,110,000	4	1,900,000
32期	16	2,740,000	4	2,400,000
33期	20	2,710,000	3	2,300,000
34期	31	1,660,000	3	1,000,000
35期	39	3,230,000	6	1,800,000
36期	83	3,140,000	3	1,610,000
37期	73	2,580,000	4	1,530,000
38期	14	1,520,000	3	1,100,000
39期	9	250,000	0	0
40期	11	880,000	2	600,000

期	累計		(内 大口寄付者)	
	人数	寄付金額	人数	寄付金額
41期	9	510,000	1	300,000
42期	10	715,000	1	300,000
43期	12	2,230,000	4	1,900,000
44期	10	260,000	0	0
45期	20	1,550,000	3	900,000
46期	14	1,860,000	5	1,500,000
47期	5	130,000	0	0
48期	4	370,000	1	300,000
49期	7	532,000	1	300,000
50期	4	120,000	0	0
51期	1	30,000	0	0
52期	3	810,000	2	800,000
53期	3	2,330,000	2	2,300,000
54期	19	360,000	1	300,000
55期	1	10,000	0	0
56期	2	330,000	1	300,000
57期	4	100,000	0	0
58期	3	70,000	0	0
59期	4	150,000	0	0
60期	9	540,000	1	300,000
61期	5	220,000	0	0
62期	0	0	0	0
63期	2	60,000	0	0
64期	5	290,000	0	0
65期	2	40,000	0	0
66期	1	10,000	0	0
67期	3	70,000	0	0
68期	3	360,000	1	300,000
69期	0	0	0	0
70期	4	390,000	1	300,000
71期	1	30,000	0	0
72期	1	30,000	0	0
73期	0	0	0	0
74期	0	0	0	0
塾員	2	40,000	0	0
保護者	59	3,370,000	3	1,300,000
一般	11	830,000	1	300,000
卒業生家族	10	1,315,000	4	1,200,000
教職員	18	2,040,000	2	1,300,000
法人	8	8,400,000	8	8,400,000
団体(卒年以外)	3	3,160,000	3	3,160,000

# 開設75年事業

## 慶應義塾志木高等学校開設75年事業募金のご案内

### ■募金概要

- 募金名称 慶應義塾志木高等学校開設75年事業募金
- 募金目的 慶應義塾志木高等学校開設75年事業資金として
- 募金目標額 2億9千万円 学内募金として
- 募金期間 2021年4月1日～2024年3月31日
- 募金対象 個人、法人、団体（有志団体等）
- 一口1万円、できましたら三口以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■お申し込みについて

- 個人としてお申込みいただく場合

#### ■クレジットカード（インターネット募金）

慶應義塾志木高等学校開設75年事業ウェブサイト  
<http://75th.shiki.keio.ac.jp/> からクレジットカードで  
 お支払いいただけます。海外からの寄付も可能です。

75年事業 Web サイト  
 QR コード  
 HP 下部に、お申込み  
 ボタンがあります。



#### ■ゆうちょ銀行（郵便局）

慶應義塾所定の「振込用紙（兼申込書）」をご利用のうえ、郵便局の窓口またはATMでお振込みください。振込用紙は会報に同封しますが、必要に応じて志木高窓口にご請求いただければ郵送いたします。なお、他の銀行からの振込には対応していません。

- 法人・団体としてお申込みいただく場合

個人の取扱いと異なりますので、お手数をおかけしますが慶應義塾基金室までご連絡ください。個別にお話を伺い、ご案内をお送りします。寄付者のリストを提出いただくことにより、各人が寄付金控除を受けられます。

### ■ご芳名の発表

ご寄付を賜りました方々のご芳名は、ご希望により慶應義塾の機関誌である「三田評論」に金額とともに掲載させていただきます。なお、1,000円以上の寄付者にはご芳名が掲載された「三田評論」を郵送させていただきます。

### ■ご寄付者の顕彰

慶應義塾志木高等学校開設75年事業への寄付の累計が30万円以上の個人・法人・団体は、そのご厚志への感謝のしるしとして、新多目的棟内に顕彰銘板を作成し、ご芳名を掲げさせていただきます。また、新多目的棟記念式典にご招待いたします。累計3万円以上のご寄付を賜った方には、記念品を郵送させていただきます。

### ■寄付金に対する免税措置について（2023年6月現在）

税務署に確定申告することで寄付金控除をお受けいただくことができます。個人は暦年、法人は事業年度ごとの控除となりますので、募金期間3年の各年に適用することができます。

- 個人の場合（例：東京都港区在住 課税所得金額が500万円の場合）

例 30,000円寄付	①所得税	+	②住民税	=14,000円 の減税
	$(30,000 - 2,000) \times 40\%$ =11,200円		$(30,000 - 2,000) \times 10\%$ =2,800円	

# 募金のお願い

## ①所得税の寄付金控除

<税額控除を選択した場合>

$(\text{年間の寄付金合計額}^{※1} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{寄付金控除額}^{※2} \rightarrow \text{所得税額から控除}$

※1 年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合、40%に相当額が限度額となります。

※2 寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。

<所得控除を選択した場合>

年間総所得額の40%を限度として、その年の寄付金の合計額から2千円を引いた金額が、その年の所得から控除されます。

②個人住民税の寄付金税額控除（東京都・神奈川県・埼玉県・山形県・大阪市にお住まいの方）  
 $(\text{寄付金額}^{※3} - 2,000 \text{円}) \times \text{控除率}^{※4} = \text{住民税の控除額}$

※3 年間総所得金額等の30%が限度額となります。

※4 控除率は、最大10%となります。

## ○法人の場合

「受配者指定寄付金制度」により寄付金全額が損金に算入できます。

または、「特定公益増進法人に対する寄付金制度」により一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

## ○相続財産について

相続された財産を相続税申告期限内（ご逝去された翌日から10か月以内）に慶應義塾に寄付し、税務署に申告することにより、そのご寄付は相続税の課税額から除外され、非課税になります。なお、文部科学省の「相続税非課税対象法人の証明書」が必要で、発行するのに約2ヶ月を要しますので、お早めに基金室までご相談ください。

寄付金控除の詳細は、基金室 Web サイト <https://kikin.keio.ac.jp/menzei.html> をご覧ください。

## ご連絡・お問い合わせ先

### ■事業・募金について

慶應義塾志木高等学校 開設75年事業担当

〒353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1

TEL 048-471-1361（平日9:00～16:30）／FAX 048-471-1974

E-mail [shiki-soumu@adst.keio.ac.jp](mailto:shiki-soumu@adst.keio.ac.jp)

志木高等学校 Web サイト <https://www.shiki.keio.ac.jp>

趣意書については、開設75年事業ウェブサイト <http://75th.shiki.keio.ac.jp/> をご確認ください。

### ■法人・団体の申し込み、免税措置について

慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

TEL 03-5427-1717（平日9:00～17:00）／FAX 03-5427-1546

E-mail [kikin-box@adst.keio.ac.jp](mailto:kikin-box@adst.keio.ac.jp)

# 【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会		志木高等学校
	R5年度予定	R4年度実績	R5年度予定
4月	4/30 枇杷の会*1 (横浜公園から大磯橋界隈)		4/6 入学式(10:00) 4/7 ガイダンス 4/20 健康診断
5月	5/20 校内自然観察会*2	5/29 枇杷の会*2 (大磯海岸鳴立庵周辺)	5/9～5/11 1年生研修旅行 5/27 慶早戦
6月	6/3 5高JKカップ 悪天候につき延期 6/6 幹事総会	6/2 幹事総会 6/4 5高JKカップ 6/25 会報発行	6/19～23 第1回定期試験 6/26～28 クラスマッチ
7月	会報発行		7/13 第134回志木演説会 7/18～ 夏季休業
8月			
9月	9/14 第10回志木マスターズ :太平洋クラブ成田コース 9/16 校内自然観察会*2	9/12 第9回志木マスターズ :武蔵カントリークラブ豊岡コース	～9/2 夏季休業 9/26～29 2年生研修旅行 9/26～29 3年生見学旅行 1年生救命講習
10月	10/15 連合三田会大会 10/28、29 ホームカミングデー 収穫祭:志木高 (22期&47期)&(23期&48期)	10/1 歩こう会 (見沼たんぼを訪ねて) 10/16 連合三田会大会 10/29、30 ホームカミングデー 収穫祭:志木高 (20期&45期)&(21期&46期) 10/30 枇杷の会*2 (目黒・自然教育園)	10/12 運動会  10/28～29 収穫祭
11月	11/5 5高JKカップ 11/18 第8回志木会大会 恵比寿ガーデンプレイス 11/26 枇杷の会*1 (大磯・鳴立庵)		11/3 学校説明会 11/20～25 第2回定期試験  11/28～30 クラスマッチ
12月			12/8 第135回志木演説会 12/13 マラソン大会 12/18～ 冬季休業
1月			～1/6 冬季休業 1/12～16 3年生第3回定期試験 自己推薦入試
2月	幹事新年会	2/28 幹事新年会	一般・帰国生入試 2/15～19 1,2年生第3回定期試験
3月	3/24 卒業式 卒業40周年招待(32期&33期)	3/24 卒業式 卒業40周年招待(30期&31期)	3/24 卒業式(10:00)

\*1: 枇杷の会は本井英元教諭(国語)のご指導のもとに開催されます

\*2: 志木高校内自然観察会は井澤教諭、宮橋教諭(理科)を中心に開催されます(卒業生参加可)

★行事予定は、変更または中止になる可能性がございます。

都度、ホームページ等でご確認下さい。

## 志木会会費制度の変更について

ご周知の通り、平成30年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5年で1万円」（年2,000円換算）としてまいりました。しかしながら、会費納入率（平成29年度実績）は、全卒業生約15,000人の約18%と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらにはOBの繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

### 【新制度について】68期より

- ① 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として30,000円/人を納付いただく。
- ② OBの従来の会費制度を基本、廃止する。

●但し、合計3万円を未納の58期～67期までのOBは、3万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選択いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成21年度秋より毎年数名への給費（令和4年度までに合計38名）が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への用途指定寄付金として税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

### 【募金要綱】

**募金単位** 1口 1万円

**払い込み方法** 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL : 048-471-1959 Mail : info@keio-shikikai.jp

## 志木高教職員の動向

### 教員

退職▶専任 柴田 康男 君（外国語科/英語）  
宮崎 倫彰 君（数学科）※女子高等学校へ異動  
非常勤講師 10名

新任▶専任 三船 豪介 君（数学科）※普通部より異動  
中嶋 雅巳 君（外国語科/英語）※普通部より異動  
非常勤講師 6名

### 職員

退職▶事務員1名、派遣職員（教務）1名、派遣職員（図書館）1名、  
派遣職員（理科助手）2名、派遣職員（庶務）1名

新任▶事務員1名、嘱託職員（図書館）1名、嘱託職員（理科助手）1名、  
嘱託職員（庶務）1名、派遣職員（理科助手）1名

### 訃報

宮下 昭三 君（元数学科教諭）

謹んでご冥福をお祈りいたします

## 『慶應志木会賞』について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、本年度で17回目を迎えました。

令和4年度は、5団体と4名の生徒を表彰いたしました。

1. **水泳部** (3名) 推薦者：水泳部部长 樋口 裕輔 教諭 (7年連続受賞)  
2022年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 出場
2. **バスケットボール部** (1名) 推薦者：バスケットボール部部长 佐野 正 教諭  
埼玉県選抜選手 (埼玉県で15人のみ選抜) として、埼玉カップに出場し他県の強豪校とのゲームに活躍した。本校の埼玉県ベスト4をかけた試合においてもキャプテンとして30得点をあげ、昌平高校への勝利にあと一步というところまで追いつめた。
3. **端艇部** (5名) 推薦者 端艇部部长 池田 卓也 教諭 (11年連続受賞)  
令和3年度及び令和4年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会兼第69回及び第70回全日本高等学校選手権競漕大会に男子舵手付きクォドルプルの種目 (1000 m) で埼玉県代表として出場、準々決勝進出を果たした。
4. **器楽部** (11名) 推薦者：器楽部部长 小池 陽 教諭  
第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会・高等学校A部門  
審査員特別賞ならびに最優秀グランプリ受賞  
第28回西関東吹奏楽コンクール・高等学校Bの部 銀賞受賞
5. **軟式野球部** (1名) 推薦者：軟式野球部部长 松田 恒尚 教諭  
令和4年度埼玉県高等学校軟式野球春季大会 優勝  
(3校連合チーム：慶應志木・浦和ルーテル・大宮ろう学園)
6. **福山 航生 君** 推薦者：国語科一同  
第68回角川短歌賞 次席選出  
第15回全日本学生・ジュニア短歌大会 毎日新聞社賞受賞  
第10回記念～家族を歌う～河野裕子短歌賞 俵万智選者賞受賞  
若山牧水青春短歌賞 優秀賞受賞  
第3回短歌研究ジュニア賞 佐藤弓生選者賞ほか受賞
7. **今村 豊隆 君** 推薦者：大垣内 暖人 教諭 (国語科)  
第3回短歌研究ジュニア賞 金賞 (実質2位相当) 受賞
8. **田沼 侑晟 君** 推薦者：大垣内 暖人 教諭 (国語科)  
第5回山頭火ふるさと館自由律俳句大会一般の部  
防府市長賞 (実質2位相当) 受賞
9. **武居 隼也人 君** 推薦者：小澤 純 教諭 (3年D組担任)  
司法試験の予備試験合格

以上

## 體育部會NOW / 第23回

### ゴルフ部 部長 前北馨

昨年4月からゴルフ部の部長を務めています。現在、3年生4名、2年生8名、1年生7名の19名で活動しています。平日は、週に3回、志木市役所近くの練習場、志木エバークリーンの屋上打席を開放していただき練習しています。ほかに、大会前や休暇中にはゴルフ場での練習ラウンドを行い、夏と春の2回、3泊4日の合宿に出掛けています。

昨年は、関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会、冬季大会の埼玉地区予選に出場し、夏季大会（大宮ゴルフコース）は団体8位、個人のトップは立石大貴君の68位、冬季大会（高坂カントリークラブ）は田中信太朗君の36位がトップという成績でした。また、8月にはオール早慶ゴルフ定期戦（千葉カントリークラブ川間コース）に出場しましたが、高校男子の部は早稲田に敗れました。

今年度、コロナ禍での制限がなくなり、本格的に活動できるようになりました。長く監督を引き受けて下さっている守谷多聞さんのご指導の下、生徒も着実に上達しています。5月の夏季大会埼玉地区予選（大宮ゴルフコース）では、団体5位、個人では高木亮輔君が53位の成績を取めました。団体で6月の関東大会への進出が決まりました。

技術的な指導はできませんが、私や副部長の三船教諭も一緒にプレーしながら、生徒の活躍を見守っていききたいと思います。

## 文化部会NOW / 第23回

### 鉄道研究会 部長 長谷川泰史

令和4年（2022年）度から部長に就任した長谷川です。

昨年度は鉄道模型コンテストへの参加およびその前の校内合宿、夏・春の鉄道旅行、収穫祭での展示が主な活動でした。

全国高等学校鉄道模型コンテスト2022ではモジュール部門で理事長特別賞に輝きました。

モジュール部門というのは各校が線路とその周囲の情景を含めた模型を制作し、コンテスト会場でそれらを繋ぎ合わせて環状の線路にして電車模型を走らせるという企画部門です。多くの学校が参加をしていて、部員数・制作期間などにより出来具合は様々です。

昨年は分倍河原駅のJR南武線と京王線の立体交差と周囲の風景を再現することを目標に3回の実地調査後、夏休みに校内合宿を2回行って、一気に仕上げました。部員が多くはなかったのですが、この期間の集中力と寝る間も惜しんで制作した部員たちの熱意はなかなかのものでした。完成した模型は、少し見ただけでは他校との違いは分からないかも知れませんが、建物や通路の細部など、時間をかけて見れば見るほど特別賞にふさわしい出来でした。

旅行はローカル線、珍しい特急電車、そして時にはフェリーを織りまぜながら、夏は函館、春は九州まで行きました。朝から夜まで1日中電車・フェリーに乗って、車窓の風景、その地方の雰囲気、鉄道の乗り心地を心行くまで味わいます。鉄道模型コンテストで頑張った自分たちへの御褒美という位置付けでしょうか。旅程は部員達が皆の要望を取り入れて作成し、随所に鉄道ファンならではのこだわりと、普通の旅行ではなかなか味わえない奇抜な鉄道の楽しみ方が込められていて、珍しい体験が多いので掛かった時間以上の長旅に感じました。

# クラブ戦績

クラブ	戦績
体育部会	
硬式 野球部	2022年度選手権埼玉県大会 2回戦6-2対所沢商業、3回戦 7-0 (7回コールド) 対鶴ヶ島清風、4回戦5-6 (9回サヨナラ) 対川越工業 / 南部新人大大会 1回戦 2-13 (5回コールド) 対武南 / 秋季南部地区予選 1回戦7-9 (延長10回) 対細田学園 / 2023年度春季南部地区予選 1回戦10-1 (7回コールド) 対岩槻商業、代表決定戦0-4対大宮東
競走部	学校総体埼玉県予選会 男子800m決勝市村5位北関東大会出場権獲得 / 県高校新人陸上競技大会男子800m決勝・1500m決勝 市村 関東大会出場権獲得 / 全国高校駅伝競走大会埼玉県予選会18位 / 第82回奥多摩深谷駅伝競走大会Aチーム5位、Bチーム10位
卓球部	R4.7岡部杯争奪卓球大会シングルス上田ベスト16 / R4.8学年別強化卓球大会シングルス上田ベスト64 / R4.9西部地区秋季大会団体戦ベスト8、シングルス上田ベスト32、野津・小曾戸ベスト64 / R4.9全日本ジュニア埼玉県予選大会シングルス出場 / R4.12埼玉県ジュニア卓球選手権大会シングルス出場 / R5.1新人大大会埼玉県西部地区予選会団体戦ベスト13上田・野津・中山・小曾戸・林、シングルス上田・野津ベスト64、ダブルス上田・野津ベスト20 / R5.2新人大大会埼玉県予選会団体戦ベスト32上田・中山・小曾戸・林 / R5.4関東大会兼全国高校総体埼玉県西部地区予選会団体戦ベスト12上田・小曾戸・中山・林、シングルス上田ベスト32、ダブルス上田・林ベスト24 / R5.5関東大会埼玉県予選会団体戦ベスト32上田・小曾戸・中山・林、シングルス上田ベスト64
庭球部	2022年度関東高校テニス大会埼玉県予選団体戦ベスト16 / 2022年度新人大大会埼玉県予選会団体戦ベスト16、個人戦シングルス 菅ベスト64、庄司ベスト64、板垣ベスト128、ダブルス菅・庄司ベスト32
ラグビー部	国体県予選1回戦対西武台65-7、準々決勝対早稲田本庄28-7、準決勝対浦和19-19、3位決定戦対本庄第一24-17 / 7人制ラグビー埼玉予選1回戦対合同A34-0、2回戦対立教新座17-15、準々決勝対熊谷工業14-26、順位戦早稲田本庄対0-45 / 全国大会予選2回戦対合同C76-5、3回戦対立教新座8-32
端艇部	第91回早慶レガッタ高校4X+B (染谷・澤路・瀧澤・渡辺・梅岡) 優勝 / 関東高等学校ボート大会県予選2XA (衛藤・梅岡) 3位・4X+A (染谷・澤路・佐藤・加藤・瀧澤) 3位 / 関東高等学校ボート大会1X (飯牟礼) 6位・2X (衛藤・梅岡) 5位・4X+ (鈴木・澤路・佐藤・加藤・瀧澤) 準決勝進出 / インターハイ県予選1XA (飯牟礼) 3位・2XA (衛藤・梅岡) 3位・4X+A (鈴木・澤路・佐藤・加藤・瀧澤) 優勝 / 四国インターハイ4X+A (鈴木・澤路・佐藤・加藤・瀧澤) 準々決勝進出 / 県新人戦2XA (井上・渡辺) 3位・4X+A (高崎・佐藤・加藤・飯牟礼・磯村) 2位 / 関東高等学校選抜ボート大会2X (渡辺・吉田) 準決勝進出4X+ (高崎・佐藤・加藤・飯牟礼・磯村) 4位 / お花見レガッタ高校の部2XA (加藤・吉田) FinalA5位・1XC (飯牟礼) FinalA5位・1XA (井上) FinalA6位
バレー ボール部	埼玉県インターハイ西部支部予選1回戦対狭山経済0-2 / 埼玉県私立大会(総当り戦) 対東農大三高1-2、対東野1-2、対国際学院2-0、対秀明栄光2-0 / 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会西部地区予選会1回戦対新座柳瀬2-0、2回戦対朝霞0-2、敗者復活戦対ふじみ野0-2
ホッケー部	高校総体 (インターハイ) 埼玉県予選 1次予選対飯能南0-16、2次予選対飯能南0-26
サッカー部	総体西部支部予選 代表決定戦敗退 / 全国高校サッカー選手権埼玉1次予選 決勝-ナメト進出、決勝-ナメト1回戦敗退 / U18西部1部リーグ6位
バスケット ボール部	令和4年度全国高等学校総合体育大会埼玉県西部支部予選 3回戦敗退 / ウインターカップ2022埼玉県西部支部予選 県ベスト16大会出場決定 / 令和4年度夏季バスケットボール選手権大会西部支部 ベスト16 / ウインターカップ2022埼玉県予選 1回戦対西武文理高校92:91 2回戦対昌平高校69:74 県ベスト8大会出場 / 令和4年度高等学校バスケットボール新人大大会西部支部予選 県ベスト48

クラブ	戦績
弓術部	慶應義塾六校対抗弓道大会第3位 / 埼玉県西部地区大会一の立(久保村高原) 2次予選進出、個人 原6位 / 本塾女子高等学校対抗戦 (志木高55中対女子高76中) / 関東大会埼玉県予選Aチーム (久保・村高・原) 2次予選進出 / 全国高校総体埼玉県予選個人の部 久保、渡邊、井上 2次予選進出
ゴルフ部	2022年度関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会埼玉地区予選 団体7位、個人 立石68位 / 冬季大会埼玉地区予選 田中36位
剣道部	関東予選支部大会団体1回戦対朝霞3 (4) -0 (0) 2回戦対坂戸西1 (1) -2 (3) 林田・上田・岩崎・田中・表・竹内・門馬・中山、個人:県大会出場権獲得者=門馬ベスト16、北尾 出場者=田中、竹内 / 関東予選個人:北尾1回戦敗退、門馬1回戦敗退 団体:1回戦対川越1 (1) -2 (2) 林田・上田・岩崎・田中・表・竹内・門馬・中山 / 全国予選団体:1回戦対浦和工業5 (9) -0 (0) 2回戦対川越南5 (9) -0 (1) 3回戦対本庄第一0 (0) -5 (9) 林田・上田・岩崎・田中・表・竹内・門馬・中山 / 第13回早慶対抗試合 勝抜戦0本塾 不戦2早大本庄 通算本塾11勝2敗 優秀選手:岩崎、竹内 (6人抜き) / 支部新人戦1回戦対新座柳瀬5-0 2回戦対川越南5-0 3回戦対坂戸西4-0 4回戦対山村学園0-4田中・竹内・表・門馬・中山 / 選抜予選新人大大会 2回戦対久喜工業5 (9) -0 (0) 3回戦対昌平1 (2) -4 (7) 田中・竹内・表・門馬・中山 / 関東私立選抜大会 1回戦対千葉黎明 (千葉県ベスト16) 3 (6) -1 (2) 2回戦対足立学園 (東京都3位) 0 (0) -3 (5) 田中・竹内・表・中山
スキー部	インターハイ予選GS:齋藤14位、北山16位、高橋20位、上柳DF、SL:齋藤11位、高橋21位、北山DF、上柳DF / 国体予選:北山14位、齋藤DF、高橋DQ / 関東大会GS:北山63位、齋藤67位、高橋DF、SL:齋藤106位、高橋114位 / 新人戦GS:齋藤8位、北山10位、高橋DF、SL:齋藤7位、高橋14位、北山20位
ソフト テニス部	第50回東京六大学附属系属高等学校ソフトテニス大会 西村・大岡ペア ベスト8 / 令和4年度新人大大会県大会 個人戦 木宮・石塚ペア、竹内・中村ペア、武部・五十嵐ペア 県大会出場、団体戦 県大会出場 / 令和4年度埼玉県私立高等学校ソフトテニス選手権大会男子個人戦の部 武部・中村ペア、竹内・鈴木ペア ベスト32
水泳部	埼玉県学校総合体育大会 男子総合4位、50m自由形永瀬4位、100m自由形永瀬2位、100m平泳ぎ亀井3位、200m平泳ぎ亀井4位、200m自由形井上7位、100mバタフライ齋藤8位、200m平泳ぎ田中8位、400mメドレーローマネス・亀井・齋藤・永瀬4位、400mルー永瀬・齋藤・井上・亀井4位、800mルー井上・齋藤・永瀬・亀井6位 / 埼玉県高等学校水泳競技新人大大会 男子総合3位、100m平泳ぎ亀井 優勝、200m平泳ぎ亀井 優勝、100m平泳ぎ永瀬 優勝、100m自由形永瀬3位、井上5位、200m自由形井上4位、100m平泳ぎ田中8位、200m平泳ぎ田中2位、400mルー永瀬・井上・亀井・田中2位、400mメドレー田中・亀井・井上・永瀬2位、200mルー井上・永瀬・田中・亀井4位
軟式 野球部	春季関東大会埼玉県予選1回戦三枝連合 (慶應志木・大宮ろう学園・浦和ルーテル学院) 対城西大学付属川越6-3、2回戦対熊谷9-3、準決勝対浦和美業4-3、決勝対花咲徳栄5-2優勝 / 春季関東大会1回戦三枝連合対八千代松陰2-9 / 秋季関東大会埼玉県予選1回戦対城西大学付属川越7-0、2回戦対浦和南13-7、準決勝対熊谷3-6
空手部	関東高等学校空手道大会埼玉県予選会 団体形5位、個人形佐藤7位 / 埼玉県高等学校空手道新人大大会 団体形3位、団体組手5位
文化部会	
器楽部	第63回埼玉県吹奏楽コンクール県大会「高等学校Bの部30人編成」金賞受賞 / 第28回西関東吹奏楽コンクール「高等学校Bの部30人編成」銀賞受賞 / 第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会「高等学校A部門35人編成」最優秀賞・審査員特別賞受賞
ワグネル・ ソサイエティー 男声合唱団	第65回埼玉県合唱コンクール高等学校部門 優良賞及び奨励賞受賞



# ChatGPTやSNSが注目される昨今、 俳句は元祖ソーシャル芸術、 「枇杷の会」を覗いてみませんか!

俳諧は芭蕉の時代から仲間になる遊びでした。今も俳句が同窓仲間の仲良しになる道具になっています。枇杷の会では首都圏の一度は行って見たかった自然環境に恵まれた公園、寺社などに集合し思い思いに句を詠みます、句会の後は軽く一杯を楽しみながら友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。

志木高に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。



今年度は次のように予定しています。志木会会員各位の参加をお待ちしています。又、ご家族ご友人の参加も大歓迎です。

- ・令和5年 4月30日(日) 薔薇咲きの横浜・氷川丸周辺を実施
- ・令和5年11月26日(日) 晩秋の大磯、西行法師縁の鴨立庵を予定

詳細はメールマガジンで告知します、参加の申し込みは志木会事務局まで。

過去3年間、コロナを避けて通信句会で我慢しましたが、今回は久しぶりに対面句会と飲み会を実施出来ました。志木会の9期から69期の同窓会員がご令嬢も交えて楽しく歓談しました。その時の句を中心に会員の句の一部をご紹介します。

- |                     |     |                   |     |
|---------------------|-----|-------------------|-----|
| ・しゃくなげの花びらきれいななみもよう | みどり | ・客船の来る波止場なり薔薇咲かせ  | 孝治  |
| ・注文の多き娘や薔薇の花        | かおる | ・紅と白剣弁乱る薔薇戦争      | 章良  |
| ・元町もフランス山も薄暑かな      | 昌平  | ・下がり藤上枯れていてなお残香   | 夏樹  |
| ・潮風の頬吹き渡り夏めきて       | 善兵衛 | ・氷川丸百歳近し春の海       | 伸次  |
| ・氷川丸ローズゲートに収まりぬ     | 栄一  | ・うららかや地元自慢のボランティア | 紘二  |
| ・もう煙吐かぬ船見て春惜しむ      | 次郎  | ・地下鉄をあがってみれば風光る   | たから |
| ・何色に咲く球根か新社員        | 文比古 | ・赴任地へスーツケースが落花轢く  | 祐之  |
| ・風光る外航船の星条旗         | 誠   | ・春天に安全帽が鮮やかに      | 和広  |
| ・暑き春冷えたビールと風の海      | 祥三  | ・白秋のからまつ芽吹く浅間背に   | 恭輔  |
| ・おにぎりにまぶすのりたま春の朝    | 俊一  | ・春眠し昭和の船のデッキチェア   | 啓舟  |
| ・白薔薇の朝の雨の雫かな        | 洋太  |                   |     |

平成14年6月に志木高で旗揚げしてから、今回の横浜・氷川丸句会で55回目になります。第1回句会からこれまで丁寧にご指導頂いている、本井英元教諭に感謝です。これを機会に句会を覗いてみませんか。

今までの活動は志木会ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.keio-shikikai.com>

枇杷の会幹事・深瀬啓司(15期)

# 同期会&OB会だより

## 第15期 —昭和40年卒—

### 3年ぶりに15期亦楽会開催！

令和4年11月16日に姫路、名古屋からの参加者も含め30名近い15期の仲間が日吉キャンパスの来往舎ファカルティラウンジに集い3年ぶりに亦楽会を開催しました。コロナ禍が収束しない中で集いでもあり、飲食は着席で、透明板で仕切られた6テーブルに分かれコース料理と飲み放題、席を立つとき、歓談する時はマスク着用しての亦楽会となりました。毎回の亦楽会には必ず恩師何人かに参加していただきましたが、今回は出席できず、代わりに齋藤先生と後藤先生からいただいたメッセージをご披露させていただきました。

今回のハイライトは何と言っても慶應義塾放送研究会の協力を得て亦楽会の模様をビデオ撮影したことです。皆さん後期高齢者世代となり、遠方よりの参加は難しくなり、闘病生活をされている方も増えると思われる中、亦楽会の雰囲気と参加者全員の一分間近況報告などをビデオ編集し参加出来なかった方も含めYouTube配信いたしました。塾歌斉唱、肩を組んでの若き血もありませんでしたが、昨年の志木会報でも紹介された大川聡君の「写真で読み解く世界の建設機械史」と11月の志木会メルマガで紹介された森田嘉彦君の著「八波むと志と東京喜劇」の紹介などもあり、実に楽しい時間を過ごすことができました。



彦君の著「八波むと志と東京喜劇」の紹介などもあり、実に楽しい時間を過ごすことができました。

A組大川聡君、B組浅野三郎君、D組岩倉具伸君、E組長曾我部正君、3年間もの長丁場のクラス幹事に感謝です。

文責 総幹事 15期C組龍田尚哉

## 第22期 —昭和47年卒—

### 同期会報告／二八会を四年ぶりに開催いたしました

令和2年3月実施予定だった二八会を新型コロナの流行により中止して以来、感染状況の合間をぬって開催を試みたのですが果たせず、実に4年の歳月が流れてしまいました。

『古稀記念』二八会を令和5年3月25日に開催することを正月明けに決定し、70名の参加者を目標に準備活動がスタートいたしました。2月上旬に「開催の案内状」が発送されたのは、事務局長をつとめる増田君の孤軍奮闘の活躍のおかげでした。

今回の会場は三田キャンパス内の『山食』に変更し、50年ぶりに大学を見てもみようとの思惑もありました。おりしも重要文化財の旧慶應義塾図書館が慶應義塾史展示館として一般公開されていたのも新たな驚きでした。

懐かしの山食での二八会開催が功を奏したのか、4年ぶりの開催を楽しみにしていたのか、参加者が比較的順調に推移し目標どおりとなったのは、会場の選定にご尽力いただいた剣道部の本君のおかげだったのか



もしれません。

満開の桜が季節外れの寒い雨に震えていた3月25日、「山食」に参集した二八会メンバーは68名。27名となった物故者に対する黙祷から二八会は始まりました。志木高開設75年事業に伴う募金事業の説明の後、幻となった前回実施予定だった、『志木高の今』とのテーマによる池袋駅から志木高までの現在の状況取材した力作?の発表。卒業アルバム掲載の各ク

ラス別の集合写真をプロジェクターで映し出し、古稀を迎え変わり果てたメンバーの新旧比較で大いに盛り上がりました。やはり志木高の仲間と過ごす時間は本当に楽しいものです。

今回の二八会の実施にご尽力いただいた幹事の方々に感謝するとともに、参加されたメンバー及び今回お会いできなかったメンバーの健康と益々の精進を願いつつ、次回は、令和6年3月30日(土)慶應義塾大学三田キャンパス内「山食」にて開催いたします。また、お会いできるのを楽しみにしています。

22期 深澤 澄

## 28期 —昭和53年卒—

### 同期会報告

2023/6/11 12:00~後楽園飯店にてコロナ禍以来4年ぶりの28期同期会が開催されました。

今回は初の試みとして昼食会形式で企画され39名の仲間が集い、冒頭では若くして鬼籍に入られた16名に黙祷を捧げ、また開設75年事業28期団体募金では目標額を上回る成果があったことも報告されました。

D組大池真人氏の乾杯のご発声の後、歓談後半には恒例のマイクパフォーマンスから締め若き血まで、盛会のうちにお開きとなりました。

今回ご出席頂いた方々、また残念ながらお会いできなかった方々も、次回11/18(土)慶應志木会大会にてお会いすることを楽しみにしております。

今回も会場設定にあたりご尽力頂きました幸山竜哉氏(B組) また取り纏めをして下さった学年幹事の伊能重雄氏(A組)・池田欽哉氏(D組)に改めて御礼申し上げます。

28期の皆様でメールアドレス未登録の方や変更のあった方は今後のイベントのお知らせの為に是非info@keio-shikikai.jp 気付 28期大館宛 メールアドレスをお知らせください。現在約150名の登録を頂いておりますが 更に輪を広げたいと思っております。同期の方の消息情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。 28期 B組 大館 信



## 第29期 —昭和54年卒—

### 第7回 強志会開催 (29期同期会)

「<sup>ゴウシカイ</sup>強志会」は、昭和<sup>ゴシ</sup>54年3月に卒業した29期生が開催している同期会の名称です。

平成31年(2019年)に卒業40周年を迎え、卒業式招待に60人弱が参加して第6回が行われました。

再会を約束して散会したものの、コロナ禍で計画が実現できず、4年の歳月が経ち、ようやく令和5年(2023年)4月21日(金)に、三田ザ・カフェテリアで第7回が開催されました。

還暦を過ぎ、半数近くのメンバーがサラリーマンを卒業し、頭皮が輝くメンバーも増えました。今回は63人が参加し、過去最高人数を更新しました。

2時間に及ぶ同窓会の中で、開設75年事業募金を依頼し、参加者からの寄付金30万円で団体募金を決定しました。

27人はまだまだ飲み足りず、幹事が用意した2次会場に移動しました。

8人席に9名ずつが集まり、高密状態での歓談に少しコロナ前に戻れたかなと感じました。

今後は毎年開催を目標に、幹事チームで準備を進めていく予定です。

29期学年幹事 池上忠嗣



## 鉄道研究会OB会



### 漢文・篠田雅雄先生を囲んで

花冷えの夕刻、41期（昭和63年入学）から47期（平成6年入学）まで、総勢16名が篠田雅雄先生（御年92歳！）のもとに集いました。東京近郊にとどまらず、遠方の北海道、栃木県からもOBが駆けつけ、かつての鉄道研究会の顧問であった篠田先生との楽しいひとときを過ごしました。

当時の鉄道研究会はいわゆる「旅鉄」であり、毎年夏休みには篠田先生と共に立山黒部アルペンルートや伊勢志摩、松阪などに旅行に出かけました。篠田先生は特急券、私たちは青春18きっぷを手にして。

卒業してからも「鉄研旅行」は続いており、温泉、酒蔵、ワイナリー巡りなど

を楽しんでいます。また「餃子会」も恒例となっており、篠田先生の喜寿、米寿、卒寿のお祝いといった節目では、毎回多くのOBが集まります。

不思議なことに、卒業してからも鉄道研究会のOBがどんどん増えていくのですが、これもひとえに篠田先生のお人柄が私たちを結びつけているからでしょう。コロナ禍も落ち着いてきましたから、今年こそは久しぶりに先生と温泉に浸かれることを願っています。

42期 大澤康算



## 蹴球部OB会

### 「2024年花園初出場を目指して」

4月から始まった関東大会予選、第3シード本庄第一、第4シード深谷高校を破り、7年振りに関東大会出場権を勝ち取りました。秋の全国大会予選を川城東、昌平高校に続く第3シードで臨むこととなります。蹴球部は今年創部66年を迎えますが、花園出場には手が届いていません。2020年秋、2024年花園初出場をスローガンとして掲げ、花園プロ

ジェクトを立ち上げました。強化の為にラグビー経験者の力が必要です。都内近郊15のラグビースクールにPR冊子を持参しAO入試のリクルート活動を行い、昨年度は5名の合格者を出しました。3月には第50回同志社香里定期戦を高校ラグビーの聖地花園で行い、全国大会出場を明確な目標として持つことが出来ました。神奈川県桐蔭学園のようなずば抜けたチームがない埼玉県は今がチャンスです。

今年、蹴球部に注目してください。応援宜しくお願い致します。

楽志会（蹴球部OB会）理事長 29期 鳥羽克治



## バスケットボール部OB

### 野火止会（バスケットボール部OB会）からのご報告

#### 1. 60周年記念行事について

去る令和4年（2022年）12月3日に、バスケットボール部創部60周年記念パーティーを開催しました。

コロナ禍での開催となりましたが、200名を超える野火止会員、現役高校生、保護者の方にお集まり頂き、無事に会を執り行えましたことをご報告します。

実行委員長 五十嵐将司さん（2007年卒/57期）のコメント

「同じテーブルで現役高校生との交流や、親子ほど離れた野火止会員同士が談笑している光景を見て、開催出来た喜びと共に、この会が今後も変わらず続いていくべきだなと感じました。

変化の激しい現在において、柔軟に変わっていくことが必要ではありますが、創部当初から変わらず紡がれている志木高バスケ部の伝統、魂のようなものをあの場で感じたからです。

今後も変わらず皆さんが立ち戻れる原点として、野火止会が在り続けられるよう、野火止会を今まで以上に盛り上げていく所存です。」

#### 2. 野火止会会長交代について

野火止会総会が去る3月21日に行われ、これまで5年間会長の重責を担われた小暮英之さん（1978年卒/28期）が勇退され、岡篤さん（1980年卒/30期）が新会長として選任されました。

小暮さんには今後は相談役として、引き続きそのご経験を活用して幹事会のサポートをいただきます。

文責・41期 平賀 敦巳（1991年卒）



## 志木高剣道部の歴史

慶應義塾志木高等学校の剣道部の創成期のお話をしたいと思います。

志木高の創立については故大館清次教諭の「幻の学部～獣医畜産専門学校～」志木会報2015の寄稿で存じと思います。剣道部は学校創立後、16年の年月がかかりました。剣道は道具を使うし、何よりも屋内施設が無いことにはできません。初期の志木高には体育館すらなかったですし、設備を期待するのはできないことでした。時代小説にあるような野試合形式は、武士の時代なら可能だったことですがさすがにできませんでした。創部については1人の人物の入学から始まります。その人の名は中村福義先輩（16期）です。ここからは中村福義先輩の回想です。

『私は昭和38年4月に入学しました、入学前の面接試験の担当が建部教諭（柔道部顧問）で、最後に先生から何か聞いておきたいことはあるか？と問われて、「剣道部はありますか」と尋ねたところ「あるよ。強いよ。」と回答され、それを信じて入学したところ、剣道部どころか同好会もなく啞然と。（無いことが分かっていたら、他に受かっていた早大学院に進学する予定だった）なお、現在中村先輩は中野区の歴史ある東京修道館の三代目館長、入学当時3段。

仕方なく、1年上の勝倉・楠本・張先輩に、同期の鈴木・吉田・山浦・加藤・諏訪部・星野と自分の7名で取り敢えず同好会を結成した。しかし、剣道場も無いので週に3回程度雨天体操場（旧校舎の陸上トラックの道路側一番奥・手前には1年教室）を他の運動部とシェアして、練習を始めました。同好会ではありましたが埼玉県高体連のご厚意で夏のインターハイ個人予選に中村自身が出場し県のベスト8まで勝ち上がりました。なお、3年の夏にインターハイ埼玉県個人戦予選で優勝し、県代表で佐賀まで行きました。（県予選決勝戦では、剣先の力で相手を追い詰め、気が付くと場外。これを6回押し出し2本勝ち・当時は場外3回で1本—富士先輩回想）その時には、高山教諭と大学の原田コーチと今では大問題になるだろう、遅くまで酒を飲んだのも楽しい思い出です。しかし二回戦で秋田代表に苦杯を（彼は一年遅れで大学に入学）喫しました。』

ここからは、17期富士滋美先輩の回想です。

『「お～い富士、高校はどこに行くの？」昭和39年の春、剣道大会で試合を観戦中に麹町中学剣道部の鈴木康之先輩から声がかかり、「慶應志木高です」「じゃあ一緒だ、剣道部に来いよ。彼は中村だ、大将だ。」と中村先輩を紹介され、「宜しくお願いします。」と初対面の挨拶を。

入学式を終えて剣道部に入部と思っていたが、剣道部ではなく「剣道同好会」、道場は無く雨天体操場を天気の良い日だけ使わせてもらうありさま。雨の日は、野球部・ラグビー部が使うため、翌日は泥だらけ。雑巾がけでとげが刺さるのもしばしば。

この年は入部者が私を始め、重松・大館・竹村・森本・大井・土屋・馬場・甲田・岸本と多くが入部した。中村先輩は別格、鈴木先輩は6年くらい、他の経験者は中学からで、2年生でも初心者からの多い同好会で、中でも同期の重松君は運動の経験もなく100回の素振りだけで箸が上がらなくなったほどでした。

この年から夏の合宿が始まり、場所は日光東照宮にある武徳殿、ただしこの年は工事中のため仮設の道場（まるでボクシングのリンクのようでした）外国人観光客が物珍しそうにカメラを向ける中、黙想・礼。午前の練習を終えると（中村先輩の剣道は楽しく稽古するという方針の中の一つで）近くの川（稻荷川と思われる）に釣竿持って魚釣り、川遊び、稽古がきつい？のか体力余って遊びに夢中になり稽古場に戻ると、実に妙な雰囲気。リンクの中にはキャプテンの勝倉さんが1人で正座、そこに大学生3名が当時の高木主将・青木マネージャー+塚本先輩と言う怖い面々。体育會の先輩がわざわざ高校の合宿に指導しに。これは体育會剣道部として認められた瞬間でした。

さて、合宿が終わり、夏休み後登校して、何よりも驚いたのが立派な剣道場がテニスコートの前に建っているのです。当時三田剣友会会長であり、三菱地所副社長宮田正男氏が、中央区の久松警察署前の道路整備のために撤去予定だった剣道場を交渉して志木に移築してくださったのです。

当時は珍しい道場床下にはスプリングが、打突の際に足を強くゆかを踏んでも、足に負担がかからないつくりだったのです。この道場は新剣道場ができるまでの間の30年近く志木高剣道部の血と汗と涙の舞台になりました。

2年になると、体育會から、大学生の原田コーチ、福本修二教諭が師範として時折稽古にみえ、夏合宿前

の打ち合わせでは、「午前中は懸かり稽古だけ」その名の通り、宇都宮合宿は宿舍そばの二荒山神社の石段登り、社殿前までのうさぎ跳び（今は禁止されている）等朝練から始まり、午前中のかかり稽古。部長の高山弘教諭はもっぱらトイレで部員の小便チェック。

秋に行われた日吉との各運動部対抗戦では剣道部とボート部が勝利した。

中村先輩から主将を引き継いだ後の春合宿は、千葉での日吉との合同合宿。宿舍は千葉大医学部附属病院前の旅館、福本教諭の指導は相変わらず厳しいものでしたが、「日吉は食欲が落ちているのに志木は明るく良く食べるな。」と

練習が行われた、千葉県武道館の元立ちには大学生が大勢。その前に並ぶと1人に対して2~3人。自分の番が終わって、次の順番の間が呼吸を整える小休止だが、元立ちの多さで、その余裕すらない。何しろ1人3分のかかり稽古がずっと続くのだ。それでも日吉には気力で勝っていたようだ。

その成果（せいか？）塾内対抗戦で連覇することができた。』

ここからは重松健（17期）先輩の回想です。

『スポーツとは縁遠かった自分を吹っ切りたい思いで、運動部への入部を考えていた。野球やテニスなど中学からの経験者が多そうな種目は避け、祖父や父が武道に勤しんできた時期があった事もあり、同じクラスの富士滋美君がいる剣道部に入部した。入部は10名程度、当時も剣道部のある中学校は少なく、有段者は富士君大井君（ともに麹町中）で高校から始めた初心者ばかり、初日に竹刀の持ち方から教えて頂いた。多分素振りと言うほどの内容では無かったと思うが、その夜家に帰ってから腕が上がらず、ご飯茶碗すら持てなかった記憶がある。夏休み前によく防具を付けて稽古をするようになり、夏休みには初めてとなる日光での合宿に参加することになった。駅から東照宮近くの宿舍まで防具を背負って歩いたが、その道のりが長く体力のない私だけが徐々に集団から遅れていった。その時大学の剣道部からコーチとしてこられていた森川先輩が私に声を掛けながら最後尾で一緒に歩いてくださった。その一年、稽古はいつも一杯一杯で付いていくのがやっとであったが、コーチや先輩の指導のおかげで秋には初段を取得することができ剣道を行ける自信となった。二年には剣道部も同好会から整式に体育館剣道部となり福本修二教諭が指導くださるようになり、稽古は激変した。みっちり一時間基本打ちと懸かり稽古。ある日先生に体当たりして跳ね返され勢い余って道場の外の玉砂利に転がり落ちたことがあった。それでも這い上がっていくと、先生の面の中は優しい笑顔。こうやって鍛えてくださっているのだと意気に感じた。夏の宇都宮合宿も厳しかったが秋の日吉との対抗戦に勝利した。この年の対抗戦で勝てたのは剣道部とボート部であった記憶がある。

志木高剣道部は2024年には創部60年を迎える。総勢372名による櫂りレーで、その全員の名前の木札が今も剣道場の壁に並んでいる。初代剣道部顧問の高山弘教諭が作ってくれたことから今に繋がっています。

剣道部の創成期のお話をさせていただきました。現在も多くの部活動が後輩たちの手で引き継がれ、或いは創部されて今日まで繋いでいると思います。それぞれの部の歴史があることって素晴らしいことではないでしょうか。OBたちのそして後輩たちの誇りになれば。』

最後に、剣道部のもう一つの誇り、創部に関わった中村福義先輩はすべての慶應義塾剣道部OBの中でもただ一人の全日本剣道連盟最高段位の八段を。また、志木高剣道部OBは7段7名、6段多数が現役で今も後進指導に活躍されております。

18期 大場 紹吉

## 収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会 委員長 富澤克樹君

皆さんこんにちは。第76回収穫祭実行委員長の富澤克樹です。

今年の収穫祭は「Fantasia」というコンセプトに沿った世界観を校内に再現するテーマパーク型の文化祭を目指しております。コロナの制限も緩和された今、本来の収穫祭を取り戻しさらなる高みへと羽ばたけるよう、収穫祭実行委員一同力の限りを尽くして準備を進めております。

是非とも志木高生全員で作上げるハーモニーを体験していただきたいと思っております。最大限楽しめるよう努めますので、応援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 22期 / 47期 & 23期 / 48期 ホームカミングデーのお知らせ

**日時** 令和5年10月28日(土)、10月29日(日)

**場所** 慶應志木高校 **会費** 無料

\*各期の集合日時、開催方法などの詳細が決まりましたら、メールマガジン・ホームページなどでご案内させていただきます。

### ホームカミングデー報告 —20期—

令和4年10月29日に志木高の収穫祭に合わせて「ホームカミングデー」が開催され20期が招待されました。コロナ禍の影響で2年遅れの招待となり、20期だけの単独の飲食のない会合でしたが27名が参加しました。高橋校長、坂上志木会会長、20期を代表して野球部OBで六大学での慶應3連覇時のレギュラー捕手の木原さんの挨拶がありました。久しぶりに学校へ行ったものも多くいて懐かしい時間を過ごしました。収穫祭も入場制限や変則的なスケジュールとなっていたりと例年とは違っておりましたがそれぞれに校内を散策したりして昔を懐かしんでおりました。現在の校舎のほとんどが我々の在学中に建設されたもので木造の旧校舎も出来立ての現校舎も知っており、現在の校舎に時の経過を感じさせられました。そのあと会場を浅草ビューホテルに移しスカイツリーの見える部屋で3年ぶりの同期会を開催し33名が参加しました。(両方で40名の参加者)卒業から半世紀以上たちましたが集まれば気持ちは志木高時代に戻り昔話で盛り上がりながら、70歳を過ぎ孫の話や病気の話に花が咲き楽しい時間を過ごしました。またホームカミングの際に75年事業事務局の森田さんからの協力要請に対して同期でまとめて寄付をして新建物の銘板に20期の名前を残そうの呼びかけも行い、後日30万円以上が集まり寄贈しました。現在も募集は継続中です。最後に物故者の冥福を祈ると共に皆の健康を祈念して次回の会合での再会を約束して散会しました。



20期 金子博志

### ホームカミングデー報告 —21期—

昨年10月30日、秋の晴天に恵まれた中、34名の21期生が青春の原点たる志木高本館会議室に集いました。(日程の都合で前日に参加した同期もいました)

校長先生はじめ教職員の皆様方には開催に向けたご尽力に感謝申し上げます。志木会会長はじめ役員の皆様方にも感謝いたします。お陰様で幾つもの(何人もの)再会は、一気に50年前の記憶が甦り懐かしく楽しい貴重な時間になりました。

21期は、1968年の入学です。この年に現校舎が竣工していますので私たちは当時の新校舎で入学から三年間学んだ最初の学年で非常に幸運でした。時代の成長とも相俟って豊かに高校生活を過ごした恵まれた世代だと思います。新校舎のみならず先生方にも恵まれ大学の授業を理解するに十分な基礎を学ぶことができました。校舎、先生に加え友人にも恵まれていたことを再認識した一日でした。高校卒業から半世紀が経ち半生を語り合った友人も多く、コロナが完全に収束したらこれを機に「大同期会」を開こうとの話しにもなりました。

今回ホームカミングデーにご招待いただき卒業以来初めてという再会が実現した次第です。

志木高在学中に育んだ友情は70歳になった今も変わらずに交流が続いています。

とても有難いことです。高校時代に一生の仲間に出会えたことが志木高で学んで一番良かったことと考えていま



す。誇りですし宝物です。

ホームカミングデーの限られた時間ではありましたが、懐かしい校舎、広々したグラウンド、緑豊かな校内環境を散策し、会えばたちまち高校生に戻り50年前の高校生活を思い出しながら楽しく愉快地に昔話に花が咲きました。コロナのため二次会の準備ができず幹事として申し訳なかったのですが、二組に分かれて居酒屋で旧交を温めて時間を忘れて語り合うことができ、さすが21期「チームワーク」抜群さを実感しました。

(私達の学年は21期ですが、21世紀とかけて会の名称を『野火止21』としています。  
ちなみに、野火止21のメンバーは、「野火止ボーイズ」と呼ばれています。)

21期 小林哲男

## ホームカミングデー報告 —45期—

昨年の収穫祭時にホームカミングデーにご招待を頂きまして45期計約20名が参加いたしました。高校卒業以来に会う同期もおりとても充実した、心暖まる1日となりました。

母校志木高に足を踏み入れるのは高校卒業後のメンバーもいましたが、久しぶりに入る志木高校舎は当時のままのところも当時とはガラッと様変わりしたところもありますが、約30年前のことを思い出し大変懐かしい気持ちになりました。

本当に久しぶりに会う同期達と大いに語り合い校舎を見学しながら歓談。

みな昔のイメージや面影をそのまま残して大人になっていますが笑顔で言葉を交わしているのを見ると人生の財産は友達だなあと改めて感じると共に現役志木高生にはこの志木高でできた友人を大切にしてもらいたいです。

この約3年間はコロナで思うような学生生活・青春を過ごすことができなかつたとしたら本当に可哀想で、これからの学生生活を思う存分満喫してくれることを願うばかり。

とある教室にふらっと立ち寄って志木高生と会話をしていたら、なんと志木高時代の部活の2つ上の先輩の息子さんと判明!

我々も歳をとったなあと思いつつ、慶應志木高校の伝統が引き継がれていくことを実感。彼らの子供もまた志木高に入ってくれることを期待しています。

今回のホームカミングデーを機に同期で集まる機会・企画がいくつかあります。このような機会を作ってくださいました志木高関係者の方々に感謝いたします。

どうもありがとうございました。それでは失礼いたします。はい、したっ!

45期 星川太輔 (應援指導部主将)

## ホームカミングデー報告 —46期—

昨年令和4年(2022年)10月30日の収穫祭開催日に、平成8年(1996年)3月卒業の46期がホームカミングデーにご招待いただき、当日は7人が参加しました。本来は卒業25周年である2021年にご招待いただける予定でしたが、コロナ禍で延期され、1年遅れで参加できたことになりました。

通っていた当時にはなかった、志木駅前の新しいビルを通り、ららぽーともダイエーもなくなった風景に驚きながら当時と同じ小路を抜けると、在校生や収穫祭への来場客でにぎわう志木高がありました。

会のなかでは、在学当時にお世話になった森岡主事からコロナ禍の志木高の状況や、今後の新しい計画などを伺うとともに、同じくお世話になった井澤教諭・河野教諭・城石教諭と、当時の卒業アルバムをみながら、いろいろとお話することができました。また校内見学では、以前と変わらずラグビー部の指導に取り組む竹井教諭ともお話しでき、つかの間ですが高校生当時に戻れることができました。

開催にご尽力いただいた志木会・志木高のご関係の方々に感謝申し上げます。

46期 川崎 聡



## 卒業40周年ご招待

30期 小坂孝樹

### 慶應志木高を卒業したことを改めて誇りに思う

卒業40周年というと58歳。多くの方は社会人現役バリバリで再雇用で文句を言うこともなく、子育ても一段落し、親の介護までには少し時間的余裕がある良い年齢です。我々30期は2020年に70期の卒業生と一緒にその時を迎える予定でしたが、コロナの影響で3年後の今年3月24日(金)に31期の方々と一緒に40周年記念として卒業式にご招待を受けました。

久しぶりに会う仲間達と集い、語り、一瞬にして時を遡り“変わらないねえ”と言葉を交わしあいながら後に卒業アルバムを見ると相当変わっていることに気づかされる楽しい時間です。

卒業式に2階から参加させて頂きながら“自分達の時もこんな感じだったのかなあ”と思いにつけていく間にも粛々と式は進行します。今年は収穫祭も復活したようです。1年生から3年生まで全生徒が初めての収穫祭のため、卒業した先輩に相談しながら開催した新収穫祭となりましたと高橋校長からお話頂きました。

山内常任理事より塾歌の解説を頂きました。「見よ 風に鳴るわが旗を」の「旗」の意味の深さに感銘を受け、コロナ禍での塾生の活躍と重なり感慨深いものがあります。この想いを知って塾歌を歌うと、この歳だからこそ感じる熱いものがこみ上げてきます。

慶應志木会の入会セレモニーでは、坂上会長から卒業生に向けて温かく、ユーモア溢れるメッセージを頂きました。志木高を卒業すると自動的に志木会に入会すると聞き“そうなの？”と初めて志木会の存在を知る人もいました。

その後は志木高内の別の会場で懇親会を開催頂き、記念品を拝受。会場には当時担任をして頂いた篠田先生、澤田先生にもお越し頂き、懐かしさ爆発です。解散後も30期の幹事の粋な計らいで志木駅近くの居酒屋で懇親会。3次会は卒業式に間に合わなかった仲間も駆けつけ池袋での飲み直しと1日中、高校時代を思い出しながら楽しい時間を過ごしました。

改めて志木高の卒業生で良かったと感じることが出来る素晴らしい機会を頂きました。

高橋校長はじめ教員の方々のご厚意と事務局の皆様のご尽力に深く感謝致します。

平日の昼に同期の20%程が集まる素晴らしい時間です。還暦の少し前に同窓と肩を並べる良き機会ですので、これから招待される皆様は是非いまから“3月24日卒業式”と予定表にご記入ください。



## 卒業40周年ご招待

31期 荻田健之

本来であれば令和3年（2021年）の卒業式の招待であった私達31期は新型コロナ感染拡大の影響で2年間の時を経ての招待となりました。

当日は東上線に乗って志木駅へ。駅からの道中は近隣の再開発で一変していたことに驚愕しましたが、三色旗はためく校門の前に立つと懐かしさが込上げてきました。

式典は学事報告、卒業証書授与、高橋美樹校長の式辞、来賓挨拶等々粛々と進行し、厳かな中にも穏やかな雰囲気漂う心地よい卒業式でした。特に今年の卒業生は高校生活3年間をコロナ禍中で過ごす異例の事態であり、式典中、卒業生のみならず先生や親御さんに大変なご苦労があったことを感じずにはられませんでした。

式典終了後の30期の先輩方との合同懇親会では篠田先生も出席され、先生の懐かしくも愉快なお話や同期・先輩方の会話で盛り上がりました。その後、校内を友人と共に一回り。「青春を謳歌できる良い高校に入ったものだ」と同様の感想を語り合いました。

また、その晩は数名の同期からの「午前の式典には出席できないが、その晩に集まりたい」との要望に応じてミニ宴会を設定。少人数ながら母校を思い楽しく過ごしました。



# 令和4年度 慶應志木会 収支報告書

[令和4年4月1日～令和5年3月31日]

単位：円

収 入		支 出	
適 要	金 額	摘 要	金 額
前 期 繰 越 金	26,996,490	会 報 費	2,609,750
		会 議 費	455,750
維 持 会 費	0	交 際 費	67,841
新 入 会 費	7,110,000	通 信 費	84,693
物 販 収 入	341,650	事 務 費	37,724
雑 収 入	107	事 業 費	255,130
		パ ソ コ ン 関 連 費	178,600
		寄 付 金	1,010,000
		(収穫祭・卒業式・国際交流支援)	
		卒 業 式	887,800
		(卒業生記念品・志木会賞)	
		75 周 年 準 備 対 策 費	612,257
		雑 費	10,719
		(支 払 手 数 料 等)	
収入小計	7,451,757	支出小計	6,210,264
		次 期 繰 越 金	28,237,983
合 計	34,448,247	合 計	34,448,247

## 預金残高明細 (令和5年3月末現在)

銀 行	種 別	摘 要	管 理	残高金額
ゆうちょ	普通	新入会費口	上西	12,774,301
ゆうちょ	振替	パーティ会費口	上西	3,999,175
三井住友	普通	小 口	天野	591,639
ゆうちょ	振替	維持会費口	芹澤	9,891,384
埼玉りそな	普通	小 口	芹澤	981,484
合 計				28,237,983

## 【監査報告】

慶應志木会会則第18条に基づき、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の収支報告を監査した結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和5年5月1日

監 事 原 田 薫 (押印略)  
監 事 増 山 治 一 郎

# 慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事 (2023年)

## ■役員

名誉会長	高橋 美樹 (校長)	
会長	坂上 隆彦 (23期)	
副会長	上西 正之 (23期)	財務・渉外担当
	大館 信 (28期)	総務・企画・広報・情報管理担当
幹事長	宇野 宏 (35期)	
会計監事	原田 薫 (15期)	
	増山 治一郎 (17期)	

## ■事務局幹事

田内 久晴 (37期)	事務局長
金子 博志 (20期)	情報管理担当
永井 利宗 (27期)	企画・広報担当
青木 勝 (33期)	総務担当
天野 徳雄 (36期)	財務担当
甲斐 正英 (40期)	財務担当
大久保佐太郎 (55期)	広報担当

## ■顧問

櫻井 英太郎 (1期)	龍野 和久 (1期)	本橋 重夫 (15期)
五老 輝彦 (9期)	品川 雅貴 (12期)	西村 孝一 (17期)
鹿野 元章 (16期)	阪東 宗文 (16期)	山崎 嘉正 (26期)
松下 賢次 (21期)	中村 弘司 (23期)	

## ■幹事

期	卒業年	幹事									
1	S.26 (1951) 年卒	藤井 淳	松本 仙太郎								
2	S.27 (1952) 年卒	忽滑谷 岱司									
3	S.28 (1953) 年卒										
4	S.29 (1954) 年卒	高橋 公郎	伊藤 金次郎	三浦 靖夫							
5	S.30 (1955) 年卒	寺嶋 延行	関山 清	木下 聰							
6	S.31 (1956) 年卒	松本 福太郎	茂木 光義	梅澤 勉							
7	S.32 (1957) 年卒	熊崎 順次郎	鈴木 正治	渡辺 正							
8	S.33 (1958) 年卒	青木 宏至	品川 宗弘	大須賀 均	磯部 和宏						
9	S.34 (1959) 年卒	五老 輝彦	佐々木 弘暢	荒井 浩							
10	S.35 (1960) 年卒	馬場 紘二	斉藤 彰	吉川 忠裕							
11	S.36 (1961) 年卒	西 光由	渋谷 哲男	北原 光夫	扇原 浩志						
12	S.37 (1962) 年卒	川久保 達也	岡田 幸次郎	原田 雄介	並木 美和						
13	S.38 (1963) 年卒	清水 武寿	椎野 開八郎	飯島 智							
14	S.39 (1964) 年卒	小林 好二	築山 正俊	三関 峻	佐久間 義雄	藤田 正壽					
15	S.40 (1965) 年卒	小笠原 準一	倉田 伸二	深瀬 啓司							
16	S.41 (1966) 年卒	緒方 信次	恩田 博司	近藤 隆夫							
17	S.42 (1967) 年卒	荘 敬典	北村 基樹	前嶋 晶廣	野村 真	中村 康二	川鍋 二郎				
18	S.43 (1968) 年卒	伊藤 博行	黒田 豊	徳永 良	間宮 勝	三村 信二	青沼 広海				
		大場 紹吉									
19	S.44 (1969) 年卒	齋藤 治雄	中西 廣策	鈴木 基晴							
20	S.45 (1970) 年卒	杉 雅俊	金子 博志								
21	S.46 (1971) 年卒	飯島 敏一	福地 敏之	折登 泰樹	小林 哲男	森 光太郎	内山 洋一				
22	S.47 (1972) 年卒	金子 康雄	櫻井 造雄	三木 哲郎	深澤 澄	江夏 雄二	増田 裕				
		城 克	深井 昭								
23	S.48 (1973) 年卒	夏目 雅	梅澤 由起	森田 榮一	三義 英一	太田 敏一	嶋田 廣雅				
24	S.49 (1974) 年卒	赤木 均	島影 幸有	田沼 潔	京本 修						
25	S.50 (1975) 年卒	小川 洋	高橋 宣行	島田 徹							
26	S.51 (1976) 年卒	山田 純男	船山 剛	小池 雅澄	善木 達明	澤田 尚史	中川 龍士				
		渡辺 規人	萩原 弘幸								
27	S.52 (1977) 年卒	鬼頭 真一郎	金森 悟	高橋 健三郎							
28	S.53 (1978) 年卒	伊能 重雄	池田 欽哉	南村 譲治							
29	S.54 (1979) 年卒	鳥羽 克治	清重 利昌	池上 忠嗣	相田 英文						
30	S.55 (1980) 年卒	岸田 一男	原田 仁敦	佐藤 正人	新 隆文	深川 和己	小坂 孝樹				
		高崎 洋一									
31	S.56 (1981) 年卒	萩田 健之	福島 聡	布施 浩行	梶原 靖友	内匠屋 健					
32	S.57 (1982) 年卒	町野 素久	横江 資久	梅田 幸彦	鈴木 厚	伊勢 学					
33	S.58 (1983) 年卒	小玉 裕	河野 潔	本多 関雄							
34	S.59 (1984) 年卒	大内 正博	山下 孝	古長 玄一郎							
35	S.60 (1985) 年卒	須佐美 文忠	昌谷 健司	岩瀬 克也	永原 圭司	坂井 琢磨	萩原 太造				
		大澤 宏樹									

36	S.61 (1986)	年卒	阿部 元雅	澤田 克己						
37	S.62 (1987)	年卒	鍋島 康友	永田 博詳	植島 博之	原田 純一	木村 尚敬			
38	S.63 (1988)	年卒	知久 康成	中里 栄基	金子 隆則	荒瀬 光宏				
39	H. 1 (1989)	年卒	丸山 和紀	田中 浩樹	大西 重夫	鈴川 智徳				
40	H. 2 (1990)	年卒	井上 晴生	税所 篤史						
41	H. 3 (1991)	年卒	柏木 徹	三田 貴良	須田 光貴					
42	H. 4 (1992)	年卒	安 重煥	小島 圭	御山 義明	大澤 康算				
43	H. 5 (1993)	年卒	藪原 一暁	高松 智之	田口 錬					
44	H. 6 (1994)	年卒	宮田 真詩							
45	H. 7 (1995)	年卒	若松 洋雄	小山 一	小川 圭	星川 太輔				
46	H. 8 (1996)	年卒	谷口 剛	川崎 聡						
47	H. 9 (1997)	年卒	小寺 俊且 前北 馨	谷 嘉康	森 茂之	西本 祥仁	濱岡 勇介	小林 圭		
48	H.10 (1998)	年卒	亀山 雄高	黒川 真行	寺西 富広					
49	H.11 (1999)	年卒	石川 快	廣江 安彦						
50	H.12 (2000)	年卒	高岡 功	徳田 征之	小林 敬英	齋藤 収				
51	H.13 (2001)	年卒	石井 強太	森川 渉	浅岡 良彦	治田 和明				
52	H.14 (2002)	年卒	毛呂 淳一朗	渡邊 慶太郎						
53	H.15 (2003)	年卒	森岡 多門	林 憲						
54	H.16 (2004)	年卒	塚本 大夢	中川 雅之						
55	H.17 (2005)	年卒	池端 俊太	小泉 貴史						
56	H.18 (2006)	年卒	大久保 匠馬	若林 隆晃	横澤 慶太	原口 惇				
57	H.19 (2007)	年卒	和田 亮	時田 亜希夫						
58	H.20 (2008)	年卒	宮山 明	佐藤 友紀						
59	H.21 (2009)	年卒	箱崎 勇人	本多 清礼						
60	H.22 (2010)	年卒	岡田 哲哉	中込 健太	工藤 雄太	松井 洋	古川 創一			
61	H.23 (2011)	年卒	井上 裕紀	富澤 直嗣	今野 秀一					
62	H.24 (2012)	年卒	荒木 謙人	岡本 尚之	加藤 将平	椎名 翔平	武藏 泰			
63	H.25 (2013)	年卒	星野 真瑠也	星野 宏太						
64	H.26 (2014)	年卒	市川 広大	巽 祐一	池上 太悟	亀倉 玲	森 大和	内村 朝樹		
65	H.27 (2015)	年卒	秋田 雅信	友野 雅樹						
66	H.28 (2016)	年卒	小林 翔	恩田 真希						
67	H.29 (2017)	年卒	菱刈 太一	本間 健太郎	大森 脩平	堀内 悠生	今野 裕三			
68	H.30 (2018)	年卒	松田 高幸	齋藤 正人						
69	H.31 (2019)	年卒	中山 元貴	堀永 尚						
70	R.2 (2020)	年卒	長合 哲弥	關山 輝流	今野 真孝					
71	R.3 (2021)	年卒	遠藤 界	脇田 克志						
72	R.4 (2022)	年卒	千葉 達博	桑名 郁弥						
73	R.5 (2023)	年卒	内田 貴久	長山 聖						

## ■クラブ幹事

枇杷の会	深瀬 啓司 (15期)	ホッケー部	菅野 芳哉 (29期)	スキー部	渡辺 一仁 (51期)
硬式庭球部	田中 真介 (17期)	弓術部	小宮 雄造 (30期)	鉄道研究会	滝上 紘之 (52期)
硬式野球部	小川 光二 (17期)	軟式テニス部	枇々木 規雄 (34期)	ワグネル	南 琳太 (61期)
応援指導部	渡辺 伸一 (17期)	バスケット部	木村 尚敬 (37期)	ワグネル	山浦 元気 (61期)
卓球部	浅生 潤 (23期)	バスケット部	平賀 敦己 (41期)		
バレエ部	進藤 英典 (23期)	サッカー部	中村 直人 (38期)		

### 【幹事の訃報】

菅野 光男君 (3期) 真野 信裕君 (6期) 細井 延昭君 (10期) 謹んでご冥福をお祈りいたします

## 編輯後記

昨年度は以前とは違う形ではありましたが、ようやくホームカミングデー・卒業40周年などが復活し、皆様との交流の場が増え嬉しく思いました。引き続き、事務局としてサポートしていきたいと思っております。(事務局・芹澤)

11月の志木会大会開催に向けて1名でも多くのOBに参加していただくためのプランニングで事務局スタッフは頭を悩ませている日々です。ザ・ガーデンホール満席の眺めを実現させたいなあ(企画・27期永井)

## 慶應志木会会報 2023.vol.43

編輯・発行 慶應志木会  
 (慶應義塾志木高等学校同窓会)  
 〒353-0004  
 埼玉県志木市本町4-14-1  
 TEL: 048-471-1959 (志木高内)  
 発行人 坂上 隆彦  
 発行日 2023年6月25日  
 印刷 (株)アレックス  
 ウェブサイト <https://www.keio-shikikai.com/>  
 電子メール [info@keio-shikikai.jp](mailto:info@keio-shikikai.jp)

KEIO  
Shiki  
since1948

# 志木会オリジナル・ 75周年記念ノベルティーのご紹介

志木会オリジナル・75周年記念ノベルティーは、記念ロゴをさりげなくあしらい、普段使いでもご利用になれる商品をコンセプトにいたしました。

素材と Made in JAPAN にこだわった受注生産の限定品でございます。

注文書を同封しておりますのでご希望商品、カラー、サイズ、数量等を明記の上、FAX、メールでお申し込みください。



カラー4色・長さ2タイプの8種類

## 紳士ベルト

日本の熟練革職人によって作り上げた高級牛革紳士ベルト。

姫路レザーのガラス仕上げで靴に合わせて4色作成しました。

ベルトの剣先の裏面にさりげなく慶應志木75周年ロゴを刻印名入れ。

A ブラック Mサイズ Lサイズ  
B ダークブラウン Mサイズ Lサイズ  
C バーガンディ Mサイズ Lサイズ  
D キャメル Mサイズ Lサイズ



パスポートジャストフィット

## パスポートケース

日本製最高級牛革使用。パスポートがピッタリ入るサイズ感。

慶應カラーのブルー・レッドの仕様で熟練革職人が仕上げました。

パスポートケース内側にさりげなく慶應志木75周年ロゴを刻印名入れ。



写真右からデザインA・B・Cとなります

## ネクタイ

3種類の西陣織レジメンタルネクタイ。素材は100%シルクの厳選された絹糸を使用。

大剣部分に慶應志木75周年マークをワンポイントでオシャレに織り上げました。



Aタイプ：メタリック



Bタイプ：カラー



## ピンバッチ

気品ある胸元を演出するにふさわしく、慶應志木 75 周年マークをフルカラーで仕上げた仕様とメタリックで落ち着いたシックな仕上げの2種類で作成しました。

サイドはマグネットポケット、  
ロゴ刺繍



## ラウンドバッグ

ゴルフラウンドのお供に便利なラウンドバッグです。サイドポケットも両面についており、ロッカーカード、携帯電話、虫刺され薬、リップクリーム、小銭などを携帯でき、ゴルフラウンドを快適にする必須アイテムです。ペットの散歩などにも便利です。

慶應カラーをさりげなくあしらい、記念ロゴは刺繍です。



75周年記念マークをプリントした限定ゴルフボールを特価販売

ブリヂストン TOUR BX

タイトリスト PRO V1

## ゴルフボール

プロゴルファーの使用率が非常に高く高性能で人気の「タイトリスト Pro-V1」と「ブリヂストン TourBX」の2023年最新モデルの2タイプです。工場最終工程のコーティング前に記念ロゴをカラーで印字するため、ロゴが削れにくくきれいに残ります。

■申込用 FAX : 048-471-1974

■申込用 mail : info@keio-shikikai.jp

■振込用口座 : 埼玉りそな銀行 志木支店 (普通) 店番 388

口座番号 : 4456363 名義人 : 慶應志木会事務局

※記念品申込み期間 : 6月下旬 ~ 8月31日 ※ご注文後、7日以内にお振込みください。 ※お届け期間 : 10月下旬 ~ 11月上旬

※入金確認後、正式受注とさせていただきます。 ※振込手数料はご負担していただきますようお願い申し上げます。

※商品についてのお問合せは、info@keio-shikikai.jp まで。

—同封の記念品注文用紙でお申込みください。—